

彙 報

第 63 回日本言語学会大会

九州大学において、昭和45年11月7日公開講演、8日研究発表を開催。

1. 公開講演

近代ギリシア語研究の問題点	関 本 至
自然言語の機械的処理	田 町 常 夫

2. 研究発表 題目および発表者は67頁以降参照。

昭和45年度第4回委員会

日 時：昭和45年9月14日

場 所：学士会分館

出席者：（ ）内は委任状受記数

岩井隆盛、亀井孝、高津春繁（1）、小林英夫（1）、河野六郎、佐藤孝、
柴田武（9）、野上素一 白紙委任 2名 委員総数 30名

議決事項：1) 可能性検討委員会に関する報告があった。

2) 委員候補者選出方法改革についての投票の開票を行なった。投票総数 19, 有効投票数 18, 賛成 15, 反対 2, 保留 1。この結果、次のことが決定されたことになる。

- ① 委員の総数を40名とし、任期は従来通り2年とする。
- ② 2年毎の選挙で全委員の半数が交替するようにする。
- ③ そのために、連続2期（4年）委員をつとめた者は、次の1期だけは委員会が推薦する次期委員候補者とはしないという方式をとる。
- ④ 全会員の投票による選挙は現行の方式に従う。
- ⑤ 昭和46・47年度については委員候補者40名のうちの20名を現委員30名からくじ引きで選ぶ。（残りの20名は現委員会が新たに推薦する。）

- 3) 第63回大会について
 - ① 運営委員長を村山七郎氏にお願いすることにした。
 - ② 日程細目, 公開講演, 研究発表について決定した。
- 4) 『言語研究』を58号から発売所を大修館書店とすることが承認された。(編集人, 発行人は従来通り学会。)
- 5) 春の大会候補校として津田塾大学をあげた。
- 6) 九学会連合および学会名簿作成について報告があった。

昭和45年度第5回委員会

日 時：昭和45年11月7日

場 所：九州大学

出席者；（ ）内は委任状受託数

池上二良, 泉井久之助, 亀井孝, 小林英夫, 佐藤孝, 柴田武(9),
鈴木孝夫, 関本至(1), 村山七郎 白紙委任 2名 委員総数 30名

議決事項：1) 大会運営について必要事項を決定した。

- 2) 次の大会は, 昭和45年5月29・30日の両日, 津田塾大学で開催することに決定した。
- 3) 九学会連合の沖縄調査(来年からの予定)への学会からの参加者の選定は, 九学会連合の沖縄関係の世話人会に現在出ている柴田武・外間守善両氏に最近の九学会理事3名を加えた小委員会が行なうことにした。
- 4) 抽せんで, 次の2名を現委員の中から次期委員候補者(委員会推薦の)にすることが決った。

岩井隆盛, 風間喜代三, 亀井孝, 川本茂雄, 木村彰一, 金田一春彦,
五島忠久, 小林英夫, 高津春繁, 河野六郎, 佐藤孝, 鈴木孝夫,
関本至, 徳永康元, 西田龍雄, 野上素一, 野村正良, 長谷川松治,
服部健, 村山七郎

残りの20名については, 現委員のうちの抽せんにもれた人々を除く
全会員の中から, 全委員の郵送投票によって選ぶ。

- 5) 学術会議中央選挙管理会臨時委員2名の指名は三根谷委員に依嘱す

る。

- 6) 作成中の学会名簿については、郵便番号は今回に限り記載しない。
- 7) 評議会と委員会との関係、学会の行なう事業等について意見が出た。

言語研究58号訂正

p. 41 8行目 $\langle 0, 3 \rangle \rightarrow \langle 2, 1 \rangle$

p. 42 9行目
$$\begin{pmatrix} \langle 0, \bar{1} \rangle \\ /I/, /U/ \\ /A/ \end{pmatrix} \rightarrow \begin{pmatrix} \frac{\langle 0, \bar{1} \rangle}{/I/, /U/} \\ /A/ \end{pmatrix}$$

言語研究バックナンバーについて

第58号でお知らせしたバックナンバーのうち、第52号・第56号は品切れとなりましたが他の号は在庫がありますので御希望の方は御注文下さい。

◇ 本誌は文部省昭和45年度科学研究費補助金の交付を得て刊行されたものです。